令和8年度　事務事業評価シート（1）
[令和7年度事務事業]

一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	広報活動事業					事業番号	001-002
担当部署名	政策局	局	広報戦略部	部	広報課		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	⑵市政への信頼獲得、ブランド力の向上に向けた戦略的広報の展開
			有	取組の方向性	②広報さかいを堺の変化や魅力を市民により伝えられる媒体にリニューアル		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	―	ターゲット	―
			無	取組	―		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺市広報戦略		
3	事業開始年度	昭和　24　年度	点検対象年度（個別計画）	令和　12　年度
4	実施根拠			

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	本市が発信する情報を伝えたい方、知りたい方	対象数	単位
			（市内配布数）約41万	戸
7	事業の目的	・市民生活に関する情報を的確かつ適切なタイミングで発信し、市民サービスの向上、市民の安全・安心に資する。 ・市政の見える化を推進し、市民の市政への信頼・関心を高め、市政への参画、更には協働を促進する。		
8	事業内容	【広報さかい】 月1回（毎月1日）発行。タブロイド版24ページ（うち区広報紙3ページ）として作成。 なお、視覚障害のある方向けに、点字版やデイジー版の発行（毎月5日）も実施している。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	委託契約受注者		
10	公民連携・協働事業	【くらしのガイドブックの発行】2年に1回程度発行（民間事業者との共同発行）		

Ⅱ．事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度（個別計画）
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11	広報さかいを読んでいる人の割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	97	93		
			達成率	97%	93%		
	当該指標を選定した理由	市民に身近に感じてもらい頼りにしてもらえる広報紙をめざすため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市政モニターアンケート結果より算出。					

	活動指標	単位		実績		目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
12	広報さかいの読みやすさ	%	目標値	100	100	100
			実績値	74	93	
			達成率	74%	93%	
	当該指標を選定した理由	読みやすく分かりやすい読み手に伝わる広報紙をめざすため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	市政モニターアンケート結果より算出。				

令和8年度　事務事業評価シート（2）

事務事業名	広報活動事業	事業番号	001-002

Ⅲ．投入量

事業コスト　　※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。　　（単位：千円）

	項　目		令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 当初予算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
13	事業費（a）		207,097	230,582	261,862	225,218	310,521
	財源内訳	国支出金	859	876	0	98	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他　（　広報さかい広告収入　）	20,134	21,933	15,840	24,212	15,316
		受益者負担金(使用料、手数料等)	68	98	91	91	91
		一般財源	186,036	207,675	245,931	200,817	295,114
14	人件費　（b）		71,490	71,340	76,920	76,920	79,080
15	年間経費（c）=（a）+（b）		278,587	301,922	338,782	302,138	389,601

事業費の内訳　　（単位：千円）

		項　目	年度		事業費	うち一般財源	項　目	年度		事業費	うち一般財源
16	事業費内訳	広報さかい発行・配布関係	R7	決算	218,326	194,016	通信運搬費	R7	決算	301	301
			R8	予算	299,513	284,197		R8	予算	0	0
		使用料及び賃借料	R7	決算	4,292	4,201	その他備品購入費	R7	決算	166	166
			R8	予算	6,192	6,101		R8	予算	1,234	1,234
		筆耕翻訳料	R7	決算	396	396	物品修繕費	R7	決算	100	100
			R8	予算	825	825		R8	予算	165	165
		くらしのガイドブック点字版・デイジー版	R7	決算	0	0	その他（旅費等）	R7	決算	621	621
			R8	予算	1,124	1,124		R8	予算	499	499
		消耗品費	R7	決算	1,016	1,016		R7	決算		
			R8	予算	969	969		R8	予算		

Ⅳ．事業の効率性

単位当たり経費

		区　分	単位	令和6年度	令和7年度
17	①	広報さかい発行	部数	5,000,948	4,996,985
	②	上記①にかかる年間経費	千円	294,385	295,426
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	59	59
	算出についての説明等				

Ⅴ．評価

費用対効果に係る所見

18

広報さかいを読んでいる人の割合は令和6年度の97%から令和7年度には93%へと若干低下したものの、概ね高い水準を維持している。
また、「読みやすい」と感じる人の割合は74%から93%へと大幅に向上しており、紙面構成や文章表現の改善等の取組成果が表れていると考えられる。
費用面では、人件費や燃料費等の物価高騰の影響により上昇傾向にあるが、本市の基幹的な広報媒体としての役割を踏まえ、引き続きさらなる情報の質の向上とコストの最適化を図る。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19

令和7年度は、当初予算の重点施策である「安心できる堺の確保」と「堺の未来への挑戦」を重点テーマとして広報紙の特集面を制作した。
「安心できる堺の確保」として、浸水対策（R7.6月号）、戦後80年（7月号）、認知症（9月号）、里親（10月号）などを巻頭特集に掲載した。
「堺の未来への挑戦」として、大阪・関西万博（R7.4月号）、堺の臨海部×脱炭素（R8.1月号）を巻頭特集に、気球、ワールド・マスターズ・ゲームズ2027関西に関する特集面に掲載した。
また、幅広い世代に読まれる広報紙をめざし、セーフティネットの情報や市の魅力情報を定期的に発信した。
今後も「安心と発見を届ける、市民の頼りになる広報紙」として市の取組や魅力を分かりやすく発信し、より多くの方に読まれる広報紙をめざす。
あわせて、広報紙が市民の市政への信頼・関心の向上や、参画・協働等の行動変容につながっているかを把握するための検証手法を検討する。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	広報さかいは、市政や市民生活に関わる情報等を掲載する本市の基幹的な広報媒体であり、情報のセーフティネットとしての役割を担っている。 また、高齢者をはじめ、インターネット等による情報取得が難しい方にとって、市政情報を入手する主要な手段であり、必要性・有効性ともに高いと考える。
	有効性	■ 高い □ 低い	